

No.	502	GWT(グループワークトレーニング)			
概要	ワークシートを用いた課題(財)に挑戦することを通して、チームワークを高めたり協力したりすることの大切さに気づくプログラム。				
内容	人数(人)	4~40人	時間	1.5~3時間	
	対象	小5以上	時期	通年	
	場所	各研修室、多目的ホール			
	指導形態	自主活動 ・ 事前の説明のみ ・ 直接指導			
	安全管理	引率者もゲームを観察し、参加者の変化(体調・人間関係など)に注視する。必要に応じては、職員と情報を共有する。			
ねらい	<p>○GWTの財(ワークシート等を用いた体験プログラム)を楽しみながら、「仲良くする」「協力する」ことの大切さや心地よさを体感する。</p> <p>○今の集団にとって、「仲良くする」「協力する」とは具体的にどうすることなのかを体験的に学び、共有することで、集団の関係性を向上させる。(チームビルディング)</p>				
準備	施設から貸出	・GWT資料 ・ワークシート ・模造紙 ・コピー用紙 ・えんぴつ ・消しゴム ・マーカー 等			
	団体で準備	・筆記用具			
	確認事項	・外部講師による指導 ・団体内でのねらいの確認、参加者の参加後のイメージを共有しておく。			

	内 容	留意事項
活動前	<来所までに> 団体のねらい、人数、集団の様子、引率者の役割等について、引率者(担当者)と打ち合わせを行う。 <来所時> 事前打ち合わせの内容を担当職員が理解した上で、引率者と活動についての最終確認を行う。	・研修者の挑戦及び学びを保障するため、引率者による助言等は行わないことを確認する。
活動の説明	① 集合 ・講師の紹介 ② アイスブレイク ・活動時間により省略する場合もある。 ③ グループ分け、約束等の確認 ・活動は成功が目的ではない。チャレンジに失敗したら、なぜそうなったかをふり返る。 ・仲間を尊重する。	・あいさつ以降は、職員が進行を行う。 ・引率者は、職員からの依頼があった場合にのみ、グループ分け等の援助に入る。
展開	④ 財の確認(5分) ・設定、課題を確認する。 ⑤ 課題解決に挑戦 ・グループごとの課題の解決に挑戦する。(20分) ⑥ 結果発表 ・グループごとに解決結果を発表する。(5分) ⑦ ふりかえり(10分) ・ふりかえりシートを使い、解決過程を見直し、ふりかえる。 ⑧ 次の財に挑戦 ・④~⑦をくり返す。 ⑨ まとめ ・活動を通して気づいたこと、学んだこと、感じたことを発表しあう。 ・日常に一般化する。	・あいさつ以降は、職員が進行を行う。 ・簡単なアイスブレイクからスタートし、ねらいに沿った財を実施し、その振り返りを行う。 ・財の種類により、活動時間は異なるので、打合せの際に実施する財について密に打合せをしておく。 ・引率者は参加者の言動を観察し、その後の指導、活動に活かす。